

本科 1 期 7 月度

解答

Z会東大進学教室

高 1 難関大英語 S

高 1 難関大英語



# 11章 動名詞

## 要点

### ■確認問題1

#### 解答

- (1) 君はどうして自分の選んだ大学に入れると確信しているんだい？
- (2) 私は日本に住んでいたことに誇りを持っている。

### ■確認問題2

#### 解答

- (1) あくびはうつる。
- (2) 冬に薄着をするとひどい風邪をひくことがある。

### ■確認問題3

#### 解答

- (1) 彼は以前、毎晩飲みに出かけていたものだ。
- (2) 私の夫は「芝生を刈る必要がある」と昨日言った。

### ■確認問題4

#### 解答

- (1) (It is difficult to imagine) him [his] accepting my decision (without any objection.)
- (2) (Her parents didn't approve) of her staying out late.

### ■確認問題5

#### 解答

A.

- (1) to be 「私は窓から外を見ると、ケイトは一人きりのようだった。」
- (2) to be 「私はそのカニが死んだと思っていた。しかし生きているとわかり、私にかみついた。」
- (3) smoking 「彼は健康を害するという恐れから喫煙をやめた。」
- (4) smoking 「私の姉〔妹〕はタバコをやめると約束した。」
- (5) to accept 「彼は私の助言を受け入れなかった。」
- (6) to find 「私は、ロンドンに行けば、職が見つかると期待した。」
- (7) writing 「私は手紙を書くのを何度も延期した。」

B.

- (1) (a) 彼女に話しかけてみようとしたが、話しかけられなかった。  
(b) 彼女に話しかけてみたが、彼女は聞こえないふりをした。
- (2) (a) 忘れずにドアをロックしなさい。  
(b) 先月あまりにも多くの服を買ったということを忘れるな。
- (3) (a) 出る時には、忘れずにドアをロックしなさい。  
(b) 私は間違いなくドアをロックした。私はロックしたこと覚えている。
- (4) (a) 残念ながら、あなたの申し出はお受け致しかねます。  
(b) ジョーは自分が言ったことを今後悔している。彼はそんなことを言うべきではなかったのに。
- (5) (a) 上司は次に自分の人生について話し始めた。  
(b) 上司は何時間も話し続けた。

#### ■確認問題6

##### 解答

- (1) この本は読む価値がある。
- (2) 勉強しなければ学校に行っても無駄だ。
- (3) 次に何が起こるか分からない。
- (4) 健康が富に勝るのは言うまでもない。
- (5) 友人を選ぶ時はいくら注意してもしそぎることはない。
- (6) ジーンは真面目でいようとしたが、笑いをこらえることができなかった。

## 問題

### 【1】

#### 解答・解説

- (1) Paying no [動名詞の意味上の主語は一般の人を指すので、明示しない。]  
○ pay no attention to ~ = ignore ~ 「～を無視する」  
○ pay attention to ~ 「～に注意を払う」
- (2) His coming [動名詞が文の主語になる場合、意味上の主語は所有格が普通。]  
○ cause A (人) B (苦痛・損害) 「A (人) にB (苦痛・損害) をもたらす」
- (3) him [his] marrying [動名詞が目的語の場合、意味上の主語は目的格の方が口語的。]  
○ object to …ing 「…することに反対する」
- (4) being laughed at [受動態の動名詞]  
○ for fear of …ing 「…するのを恐れて」
- (5) for having made  
○ excuse ~ for …ing 「～が…するのを許す」

### 【2】

#### 解答・解説

- (1) to go (彼は私たちとそこに行くことに同意した。) [agree は不定詞を目的語にとる。]
- (2) to look (英語を読んでいる時は、わからない単語を辞書で調べるためにいちいち読むのをやめてはいけない。) [stop to do の不定詞は副詞用法「…するために」。stop は動名詞を目的語にとるが、この場合は文の意味上不適切。]
- (3) to post (学校へ行く途中でこの手紙を投函するのを忘れないように。)  
○ forget to do 「…するのを忘れる」  
○ on one's way to ~ 「～の途中で」
- (4) crossing (この交差点で通りを横切らないようにするべきだ。) [avoid は動名詞を目的語にとる。]
- (5) to come (彼は約束の時間に来ることができなかった。) [fail は不定詞を目的語にとる。]
- (6) smoking (医者は私に煙草をやめるように言った。)  
○ give up …ing 「…するのをあきらめる；…するのをやめる」
- (7) to sell (私の兄は古い車を売って、新しい車を買うことに決めた。) [decide は不定詞を目的語にとる。]
- (8) writing (書き終わりましたか。) [finish は動名詞を目的語にとる。]
- (9) talking (あなたと話をして楽しかった。) [enjoy は動名詞を目的語にとる。]  
○ talk to ~ 「～と話をする」
- (10) to be (彼は具合の悪いふりをした。) [pretend は不定詞を目的語にとる。]
- (11) having stolen (彼は昨日そのお金を盗んだことを否定するでしょう。) [deny は動名詞を目的語にとる。述語動詞よりも前の時を表すので完了形を用いる。]

(12) mending (あなたのシャツは繕う必要がある。) (= Your shirt needs *to be mended*.)

### 【3】

#### 解答・解説

- (1) waking → to wake (忘れずに翌朝5時に起こして下さい。)
  - remember to do 「忘れずに…する」
- (2) to have told → telling [having told] (あなたにその話をしたことを後悔している。)
  - regret …ing 「…したことを後悔する」
- (3) to sign → signing (彼は書類に署名するのを次週まで延期した。) [put off は動名詞を目的語にとる。]
- (4) she → her (彼女が約束を破る可能性は強い。) [動名詞が前置詞の目的語の場合、意味上の主語は目的格〔所有格〕で表す。]
- (5) ○ (若者も年輩者も温かく迎えられると確信している。) [意味上の主語が名詞用法の形容詞など、所有格にしにくい語は所有格にしない。]

### 【4】

#### 解答

「全訳」下線部参照。

#### 全訳

私たちは、大学時代の旧友と会う時、同じ共通の学歴を持っていない第三者がいる前で、(その第三者に)失礼なことをしているのに気づかないことがよくある。そのような人は、私たちが昔のことを楽しくおしゃべりしている間、すっかり仲間はずれにされていると感じるかもしれない。私たちは大学を出ているが、彼は大学を出ていないという場合には、彼は私たちの優越的な態度に敏感である場合がよくある。彼も仲間入りできるように会話を変えることこそ、礼儀にかなっている。

#### 注

- ℓ. 1 ○ impolite 「不作法な、無礼な、失礼な」 (↔ polite)
- ℓ. 2 ○ share ~ 「～を分かち合う」
  - background [教養・学歴など個人的背景や経歴・学歴を指すが、ここでは特に「学歴」を指す。]
- ℓ. 3 ○ in case of ~ 「～の場合には」
- ℓ. 4 ○ our ; his [動名詞 having ~ の意味上の主語。]
  - be sensitive to ~ 「～に敏感である」
- ℓ. 5 ○ It : 形式主語 [真主語は to change ~]
  - manner : 複数形で用いる場合、①「行儀、作法」 ②「風習」の意味になる。

## 【5】

### 解答

- (1) (a) 食堂車〔動名詞〕  
(b) 食事をしている婦人〔現在分詞〕
- (2) (a) 泳いでいる犬〔現在分詞〕  
(b) 泳ぐためのプール〔動名詞〕

## 【6】

### 解答・解説

- (1) of making (彼女は英語を話す時、間違えはしないかと心配している。)
  - be afraid of …ing 「…ということになりはしないかと心配している」  
cf. be afraid to do (怖くて…できない)
  - in speaking English 「英語を話す際に」
- (2) his father [father's] having been (彼は父親がイギリスで教育を受けたことを誇りに思っている。) [完了形の動名詞は述語動詞よりも前の時、または完了を表す。]
- (3) without being (これを見るたびに、当時を思い出す。)
  - never ~ without …ing 「…することなしに～はない」 [→ ~すれば必ず…する]
  - remind ~ of … 「～に…を思いださせる」 [→ be reminded of …]
- (4) On leaving (彼は学校を出るとすぐに、実業界に入った。)
  - on …ing 「…するとすぐに」
- (5) feel like (私はまったく食欲がない。)
  - feel like …ing 「…したい気がする」
- (6) goes without saying (言うまでもなく、給料なしで働く必要はない。) [= It is needless to say that ~]
- (7) What ; say ; going (コンサートに行きませんか。)
  - What do you say to …ing? 「…するのはどうですか」
- (8) no telling (将来何が起こるかわからない。)
  - there is no …ing 「…することはできない」
- (9) from getting (私の祖父は年をとっているので職に就けない。)
  - prevent [keep] ~ from …ing 「～が…するのを妨げる」
- (10) In crossing (繁華街を横切る時は、いくら注意してもしすぎることはない。)
  - in …ing 「…する時」  
○ cannot ~ too … 「いくら～しても…しすぎることはない」
- (11) help laughing (私は彼を笑わざにはいられない。)
  - cannot but do = cannot help …ing 「…せざるを得ない」
- (12) with a view to [for the purpose of] (彼は旅行をするためにお金を貯めた。)
  - with a view to [for the purpose of] …ing 「…する目的で」
- (13) point of starting (その列車は今にも出発しようとしていた。)
  - be on the point of …ing 「今にも…しようとしている」

## 【7】

### 解答・解説

- (1) no use [good] your [動名詞の意味上の主語を落とさないように注意する。]
  - It is no use [good] …ing = There is no use [good] …ing 「…しても無駄だ」
  - beg [ask] ~ for … 「～に…を求める, 乞う」
- (2) worth buying ; while to ; while buying [× This book is not worth while buying [to buy]. ]
- (3) to speaking
  - be used [accustomed] to …ing 「…することに慣れている」
- (4) forward to hearing
  - look forward to …ing 「…することを楽しみにしている」
  - hear from ~ 「～から便りがある」
- (5) a point ; sending
  - make a point of …ing 「決まって…する」 = make it a point [rule] to do

## 添削課題

### 【1】

#### 解答・解説

- (1) (a) ラジオをつけてくれませんか。〔動名詞の意味上の主語は you。〕  
(b) ラジオをつけても構いませんか。〔動名詞の意味上の主語は my。〕  
○ turn on ~ 「～（電気・ガス・ラジオなど）をつける」 ↔ turn off ~
- (2) (a) 私は彼女をばかと呼んだことを後悔している。  
(b) 残念ながら彼女はばかだ。〔← 彼女はばかだと言うのは残念だ。〕
- (3) (a) 私は彼にお金を貸した覚えはない。  
(b) 忘れずに彼に少しお金を貸してやってください。
- (4) (a) 彼女に会ったことは忘れない。  
(b) 忘れずに彼女に会うつもりだ。
- (5) (a) 彼女に手紙を書いてみたが、返事はもらえなかった。  
(b) 彼女に手紙を書こうとしたが、できなかった。

### 【2】

#### 解答・解説

- (1) It goes without saying that health is above wealth.  
〔(和訳) 健康が富に勝ることは言うまでもない。〕  
○ It goes without saying that … 「…は言うまでもない」  
○ above ~ 「～よりも勝って」
- (2) I never see this picture without thinking of him.  
〔(和訳) この写真を見れば必ず彼のことを思い出す。〕  
○ never ~ without …ing 「～すれば必ず…する ← …せすには～しない」
- (3) I cannot help loving her in spite of her many faults.  
〔(和訳) 彼女には欠点がたくさんあるが、それでも彼女を好きにならずにいられない。〕  
○ cannot help …ing 「…せざるを得ない」 [= cannot but do]  
○ in spite of ~ 「～にもかかわらず」
- (4) His lecture on economics is worth listening to.  
〔(和訳) 彼の経済学の講義は聴くに値する。〕  
○ worth …ing 「…する価値がある」 [listening to ~ の目的語は文の主語に一致。]

## 12章 分詞1

### 要点

#### ■確認問題1

##### 解答

- (1) 私たちは家の周りを取り囲んでいる木を切らなければならない。
- (2) 私は5回目でその機械をなんとかもう一度動かした。
- (3) 彼女が朝走っているのを見ても驚かないよ。
- (4) ここでは音楽を勉強している学生はあまりいないだろう。
- (5) 彼女の言葉によって私たちが直面していることについて、深く考えさせられた。
- (6) 彼女は私を駅で1時間待たせた。
- (7) その少女は窓のそばで楽しそうに歌いながら座っていた。
- (8) とても忙しい時に話しかけ続けないでください。
- (9) このお店に来るのに困ったら、次のページを確認してください。

#### ■確認問題2

##### 解答

- (1) これらはいつでもあなたの考えを人にわかつてもらうための5つの秘訣だ。
- (2) 私の名前が大声で呼ばれるのを聞いたが、周りには誰もいなかった。
- (3) この壊れたコンピュータを修理してほしいのですが。
- (4) 私は電車でパスポートを盗まれた。
- (5) 私は今日美容院で髪を肩より上の長さに切ってもらった。
- (6) 私はゆで卵とスマートサーモンのサンドイッチとアイスティーをいただきます。
- (7) 彼はスピーチを練習する時間が残っていなかった。
- (8) 私は父のイライラしている様子がわかった。
- (9) 興奮した群衆が空港でその俳優の到着を待った。

## 問題

### 【1】

#### 解答・解説

- (1) drowning (溺れる者はわらをもつかむ。) [ことわざ]  
○ drowning (自動詞の現在分詞) [a drowning man = a man who is drowning]  
○ catch at ~ 「～をつかもうとする」
- (2) lying (私は私たちの猫が日向で寝そべっているのを見つけた。)  
○ 知覚動詞 (find) + O + C (現在分詞)  
○ lying < lie vi. 「横になる」 cf. lay ~ vt. (～を横たえる) (他動詞)  
○ in the sun 「日向で」 (↔ in the shade 「日陰で」)
- (3) sung (あなたはこの歌が英語で歌われるのを聞いたことがありますか。)  
○ 知覚動詞 (hear) + O + C (過去分詞)
- (4) running (彼はエンジンをかけっぱなしにしておいた。)  
○ leave + O + C (現在分詞)  
〔run はこの場合、「(機械などが) 動く」という意味。〕
- (5) understood (彼女は英語で自分の意志を伝えることができなかった。)  
○ 作為動詞 (make) + O + C (過去分詞)  
○ make oneself understood 「自分の意志を伝える」
- (6) broken (彼はフットボールをしている間に足を折った。)  
○ get + O + C (過去分詞)  
※ S + V + O + C (現在分詞) が「OがCしている」という意味を含み、 S + V + O + C (過去分詞) が「OがCされる」という意味を含む。

### 【2】

#### 解答・解説

- (1) spoken (カナダで話されている言語は何ですか。) [spoken は修飾語 (in Canada) を伴っているので名詞 (languages) の後に置かれる。]
- (2) married (彼らは結婚して 10 年になる (← 彼らは 10 年間結婚している。))  
○ married 「結婚した, 既婚の」 (分詞形容詞)
- (3) gone (秋がやって来て, 夏は過ぎ去った。)  
○ gone 「①過ぎ去った ②死んでしまった」 (分詞形容詞)
- (4) exciting (私はもっとわくわくするようなゲームが見たいです。)  
○ exciting [他動詞の現在分詞・分詞形容詞] [a more exciting game = a game which excites people more]  
○ would like to [want to の丁寧表現]
- (5) fallen (地面は落ち葉で覆われていた。)  
○ fallen [自動詞の過去分詞・分詞形容詞]  
○ fallen leaves 「落ち葉」 [= leaves which have fallen]

- (6) setting (彼は日没の写真を撮った。)  
 ○ setting [自動詞の現在分詞] [the setting sun = the sun that is setting]
- (7) surrounded (彼女は自分の子供たちに囲まれて座った。) [surrounded は自動詞の補語]  
 ○ catch + O + C (現在分詞)
- (8) sleeping (先生は彼が授業中に眠っているのを見つけた。)  
 ○ in class 「授業中に」
- (9) said (私たちは、「時は金なり」ということが言われるのをしばしば聞く。)  
 ○ 知覚動詞 (hear) + O + C (過去分詞)
- (10) done (私はこの仕事を素早くやってもらいたい。)  
 ○ want + O + C (過去分詞)

### [3]

#### 解答・解説

- (1) belonged → belonging (あれはグリーン氏の大邸宅だ。) [belong は自動詞なので受身形はない。]  
 ○ belong to ~ 「～に所属する, ～のものである」  
 ○ mansion 「大邸宅」日本語のマンションは apartment house。
- (2) shocking → shocked (私の母はそのニュースに少しショックを受けたようだった。)  
 [shocked は自動詞 look の補語。]
- (3) beaten → beating [beat] (私は心臓が速く鼓動している〔する〕のを感じた。)  
 ○ 知覚動詞 (feel) + O + C (現在分詞・原形不定詞)
- (4) painted → paint [painting] (私は1週間前に彼にその壁を白く塗らせた。)  
 ○ 使役動詞 (have) + O + C (原形不定詞・現在分詞)

### [4]

#### 解答

サークัสが町の遊園地で昨夜開演した。大勢の観客は、モーターバイクが猿に運転されるのを見たり、20人のきれいな少女たちが音楽に合わせて踊りながら象の背に乗って演技場を1周するのを見たりした。我々は、少女がロープで縛り上げられて箱の中に閉じ込められるが、結局はしばらくしてにっこり笑いながら脱出するのを見守った。我々は、若くて美しい短剣投げが、その夫を狙って無頓着に短剣を投げるのを見てぞくぞくした。

#### 注

- ℓ. 1 ○ the Recreation Field 「遊園地」〔大文字になっているのは、固有名詞扱いで「我々の町の」という意味。〕  
 ○ a large audience 「大勢の観客」〔audience は単数扱いが原則。〕  
 ○ watched    a motorbike    driven  
 V (知覚)      O                  C (過去分詞)

- ℓ. 2 ○ saw twenty pretty girls carried  
           V (知覚)       O                   C (過去分詞)  
     ○ ring 「(サークัสの) 円形演技場」
- ℓ. 3 ○ as ~ 「～しながら」〔接続詞〕  
     ○ danced to the music [to は「随伴」を表す前置詞。]  
     ○ watched a girl being tied up with rope and shut up in a box.  
           V (知覚)       O                   C (現在分詞 (受動態))  
     ○ tie up ~ 「～を縛り上げる」  
     ○ shut up ~ 「～を閉じ込める」
- ℓ. 4 ○ only to escape smiling a few moments later [only to do は「結果」を表す副詞用法の不定詞。]  
     ○ seeing a pretty young knife-thrower casually tossing  
           V (知覚)       O                   C (現在分詞)

## 【5】

### 解答・解説

- (1) you visiting  
     ○ want + O + C (現在分詞) (普通否定文に用いる。)
- (2) something [anything] burning  
     ○ 知覚動詞 (smell) + O + C (現在分詞)  
         〔相手から Yes という答えを予期する場合, something を用いる。〕
- (3) it unsaid  
     ○ leave + O + C (過去分詞)
- (4) wounded [injured; hurt] ; dying ; walking  
         〔the wounded [injured; hurt] と the dying は分詞の名詞的転用。〕  
     ○ kept walking < keep …ing 「…し続ける」

## 添削課題

### 【1】

#### 解答・解説

- (1) **工** (北海道への旅は疲れたけれども、楽しかった。)
- excite ~ 「～ (=人) を興奮させる」〔「興奮する」ではない。〕  
→ exciting 「(人を) 興奮させるような」／ excited 「(人が) 興奮している」
  - tire ~ 「～ (=人) を疲れさせる」〔「疲れる」ではない。〕  
→ tiring 「(人を) 疲れさせるような」／ tired 「(人が) 疲れている」  
〔excite や tire のような人の感情に作用する動詞は他動詞であることが多く、その現在分詞は「人を…させるような」、過去分詞は「人が…している」となる。〕
- (2) **ア** (彼は腕を組んでソファーの上に横になり、すぐに眠ってしまった。)
- fold は「～を折りたたむ」の意の他動詞。
  - with O C 「OをCの状態にして」〔→ 腕が折りたたまれた状態で〕
- (3) **ウ** (“psychology”という単語は辞書では “P” の項目に載せられているでしょう。)
- list ~ 「～をリストに入れる」
  - find O C 「OがCだとわかる」〔→ ～という単語が…に記載されているのがわかる〕
- (4) **イ** (かわいそうにそのおばあさんはまたかばんを盗まれた。)
- have [get] O C (過去分詞) 「OがCされる」〔被害〕
  - let O C (原形不定詞) 「Oに (望みどおり) Cさせてやる」

### 【2】

#### 解答

- (1) written by (彼によって書かれたその小説は先日刊行された。)
- (2) painted (この家はペンキを塗る必要がある。)
- (3) my shoes stolen (私は昨日靴を盗まれた。)
- (4) my room cleaned (私は息子に私の部屋を掃除してもらった。)
- (5) interested in (私はすべてに興味がある。)

## 13章 分詞2

### 要点

#### ■確認問題1

##### 解答

- (1) どうしたらよいかわからなかつたので、私は黙つていた。
- (2) その本は長い間読まれていなかつたので、ほこりまみれだつた。
- (3) ジョンはそのニュースにショックを受けて、しばらく動けなかつた。
- (4) 話し合うべき問題がもうなかつたので、会議は終わつた。

#### ■確認問題2

##### 解答

A.

- (1) Looking down from the plane, I could see the west coast of the island.
- (2) The typhoon hit Nagoya, causing great damage.
- (3) Having read the book twice, I can criticize it.
- (4) Seen at a distance, the rock looked like a lion.

B.

- (1) 生徒たちが笑いながら食堂へ向かって歩いていた時、1匹のネコを見た。
- (2) そのバスケットボール選手は目を閉じたままフリースローを決めた。
- (3) 私が今習っているのはピアノを弾きながら歌うこと〔ピアノの弾き語り〕だ。

#### ■確認問題3

##### 解答

- (1) 厳密に言うと、彼の話が彼自身の経験に基づいているという証拠はない。
- (2) それをするには一般的に言って3通りの方法がある。

## 問題

### 【1】

#### 解答・解説

- (1) Turning on the light, I was surprised at what I saw.  
(明かりをつけた時、私は目にしたものに驚いた。)  
○ turn on the light 「明かりをつける」
- (2) Turning to the right, you will find the house.  
(右に曲がると、その家が見えますよ。)
- (3) (Being) Exhausted by his work, he threw himself on his bed.  
(仕事で疲れきっていたので、彼はベッドに身を投げ出した。)  
○ exhaust ~ 「～を（くたくたに）疲れさせる」
- (4) (Having been) Betrayed by his friends, he doesn't trust anybody.  
(友人に裏切られたことがあるので、彼は誰も信用しない。)  
○ betray ~ 「～を裏切る」
- (5) Having finished all her housework, she left home.  
(家事を全て済ませてから、彼女は家を出た。)
- (6) Not knowing what to answer, she kept silent.  
(何と答えていいかわからなかったので、彼女は黙っていた。)
- (7) Not having seen it before, I didn't know what it was.  
(以前それを見たことはなかったので、それが何だかわからなかった。)
- (8) The sun having set, it got cold suddenly.  
(太陽が沈んでしまうと、急に寒くなった。)

### 【2】

#### 解答・解説

- (1) Walking (通りを歩いている時、ジョーンズさんに会った。) [時]  
= When [While] I was walking along the street, ~
- (2) Seen (遠くから見ると、その岩は人間の顔のように見える。) [条件・時]  
= If [When] the rock is seen from a distance, it ~  
○ look like ~ 「～のように見える」
- (3) Nobody having (誰もこれ以上言うべきことがなかったので、その会議は終わった。)  
〔理由〕  
= Since nobody had any more to say, ~ (独立分詞構文)
- (4) not having heard (先生は、ベルの音が聞こえなかつたので、教え続けた。) [理由]  
= ~, as he had not heard the bell, ~ [完了形の分詞構文は主節の述語動詞よりも  
前の時、または完了を表す。否定語 not は分詞の前に置く。]
- (5) crossed (彼女は足を組んで椅子に腰掛けた。) [付帯状況]  
○ with + O + C (過去分詞) の形。

- (6) arriving (私の乗った列車は6時に出発し、10時にボンに着く。) [付帯状況]  
 = ~ and arrives in Bonn at ten
- (7) Considered (芸術作品としてみれば、その建物はほとんど価値がない。) [条件・時]  
 = If [When] the building is considered as a work of art, it ~
- (8) Weather permitting (天気がよければ、明日出発するつもりです。) [条件]  
 = If the weather permits, ~  
 ※決まり文句として覚える方がよい。
- (9) injured (ひどく負傷したので、彼は歩けなかった。) [理由]  
 = Because he was badly injured, ~

### [3]

#### 解答・解説

- (1) Compared [← When he is compared with his brother.]
- (2) There [独立分詞構文]
- (3) Talking [Speaking] of ; what  
 ○ talking [speaking] of ~ 「～と言えば」  
 ○ What [× how] do you think of ~ ? 「～についてどう思うか」
- (4) Taking ; into  
 ○ take ~ into consideration 「～を考慮する」
- (5) Judging from  
 ○ judging from ~ 「～から判断すると」
- (6) with ; shining [sparkling] [with + O + C (現在分詞)]

### [4]

#### 解答

- (1) ① puzzled    ② Thinking    ③ going
- (2) (a) ヴ    (c) エ
- (3) How can I relax speaking with you
- (4) 「全訳」下線部(d)を参照。

#### 解説

- (1)
- ① アメリカ人の女性が日本人からカレンダーをあげると言われ、「なぜこれを私にくれるのか」と述べている状況から、looked puzzled (当惑しているように見えた) とする。puzzle ~は「～を当惑させる」という意味の他動詞。
- ② 前後の状況から、「彼女が喜んでくれると思って、私は～となるところ。Thinking that she'd appreciate the calendar, I said ~ という分詞構文になる。
- ③ keep ~ … で「～を…の状態にしておく」という意味。文脈から、「彼ら（アメリカ人）は身の周りにある物を話題にし、それをほめることで会話を続けていく」となる。keep the conversation going (会話を進行中の状態に保つ) が入る。

(2)

- (a) react は「反応する」、unpredictably は un- (否定) + predict (予測する) + ably (できるように) という成り立ちで、「予測できないように」の意。したがって、下線部は「彼女は思ってもみなかったような反応の仕方をした」という意味になる。筆者は、このアメリカ人の女性が当然喜んでカレンダーを受け取ってくれるものと思っていたのに、「どうしてこれを私にくれるの?」と、当惑した表情をして受け取ろうとしたのである。
- (c) cast a chill on ~ は「～の興をさます、～を白けさせる」という意味。日本では気軽に品物を相手にあげるが、アメリカではそのような習慣がないので、感謝の気持ちからカレンダーやコースターをあげようとする筆者の真意が伝わらず、アメリカ人の女性は気を悪くしたのである。
- (3) 何でもくれようとする日本人の友人に対して、アメリカ人の女性が言った言葉の一部である。直後に「私はただ～のことを話したいだけだ。何も私にくれなくていい。」とあることから、「あなたと話していると疲れる」というような非難の言葉が入るはず。How can I relax speaking with you? (あなたと話していてどうやってリラックスできようか (できない。)) となる。

(4)

- as a result 「その結果」
- might 「(ひょっとしたら) …かもしれない」 [現在における推量]
- regard ~ as … 「～を…とみなす」
- except ~ 「～を除いて、～以外は」
- a form of charity 「一種の慈善行為」
- there is a reluctance to accept it = they are reluctant to accept it 「彼らはなかなかそれを受け取ろうとはしない」
- reluctance < reluctant 「気が進まない、嫌々ながらの」

#### 全訳

「どうして? なぜこれを私にくれるの?」アメリカ人の女性は当惑しているように見えた。彼女が初めて私のアパートを訪れた時、壁に掛かっている日本のカレンダーを見て「まあ、なんてきれいなの!」と叫ぶと、「私は生け花に興味があるの。この生け方は素晴らしいわ。」と続けた。私は彼女が喜んでくれると思って、「どうぞ。差し上げましょう。」と言った。しかし、彼女は予期せぬ反応をしたのである。

私は次に何を言ったらよいのかよくわからなかった。「あなたは生け花に興味があると言いましたよね。だからこのカレンダーはあなたには意味のあるものだと思ったのです。」と説明すると、彼女は感謝して快く受け取ってくれた。

その次に彼女が私のアパートに来た時、私はオレンジジュースを1杯、コースターに載せて出した。彼女はコップを持ち上げると、そのコースターをしげしげと見て言った。「これは日本のお姫様? 髮型と衣装がすてきだわ。」記念にあげられる余分のコースターを手元に持ち合わせていたので、これはよい機会だと思った。「こういうコースターならいくつか持っているから、差し上げましょう。」と言った。すると突然、彼女の表情が変わった。「あなたとはくつろいで話ができないわ。私はただ、日本のお姫様のことを話したいだけなのに。何も私にく

れなくていいのよ。」

アメリカ人は社交的な人々である。彼らは身の周りにある物を話題にし、それをほめることで会話を続けていく。彼女はよい話題を見つけ、その話を私にふくらませてほしかったのだ。しかしながら、私の言ったことは会話を白けさせてしまった。日本人の間では、あまり高価でない贈り物をして感謝や友好の気持ちを表す習慣がある。相手が特に好きなものを贈ればなおよい。しかし、アメリカ人の間では、贈り物をするということは日本ほど決まった形で定着しているわけではない。(d)その結果、アメリカ人は（クリスマスプレゼントと誕生日のプレゼントを除けば）贈り物を施しのようなものとみなすかもしれない。だからそれを受け取る気になれないのだ。

注.....

- ℓ. 1 ○ How come (…)? 「(驚きの気持ちで) なぜ?」 [Whyよりも口語的で、後に文が続く場合は平叙文の語順になる。]  
*cf. How come you are here? 「なぜあなたがここにいるの?」*
- ℓ. 10 ○ examine ~ 「～をよく見る」
- ℓ. 11 ○ on hand 「手持ちの」
- ℓ. 14 ○ All I want to do is (to) talk about ~ . = I only want to talk about ~ . 「私はただ～のことを話したいだけだ。」
- ℓ. 19 ○ gratitude 「感謝の気持ち」
- ℓ. 21 ○ rigidly < rigid 「固定した；堅い；厳しい」

【5】

解答

Caught [← Because I was caught in a heavy rain ~]

全訳

先日、帰宅途中で大雨に降られ、ずぶ濡れになってひどい風邪を引いたので、私は学校に出られないでいる。

## 添削課題

### 【1】

#### 解答・解説

- (1) There being nothing to do (何もすることができなかつたので、寝た。) [there も分詞構文の主語の位置にくることができる。]
- (2) The car having broken down (車が故障していたので、私たちは雨の中を歩かなければならなかつた。) [独立分詞構文]  
○ break down 「壊れる、故障する」
- (3) Having never [Never having] seen him before (以前に彼を見たことがなかつたので、彼だとわからなかつた。)  
○ 否定語 not は分詞の前に置くが、Having never done の形は可。
- (4) The agreement (being) signed (その契約が署名されたので、皆は満足した。) [独立分詞構文]
- (5) Reading the book (その本を読んだら、難しい題名にも関わらず彼はそれが面白いとわかつた。)  
○ in spite of ~ 「～にも関わらず」

### 【2】

#### 解答・解説

- (1) 「全訳」下線部(1)参照 [, sleeping until warm weather comes = and (they) sleep until warm weather comes]
- (2) An animal sleeping through the cold weather [独立分詞構文]

#### 全訳

どのようにして熊は冬中眠ることができるのだろうか。(1)非常に寒くなると、ほとんどの熊は自分の洞穴に入り込み、温暖な気候が訪れるまで眠る。どうして熊は空腹になつたり、渴きを覚えたりしないのだろうかと不思議に思わないだろうか。熊は夏と秋の間に大量の食物を食べ、この食物が体内に脂肪として蓄えられるのだ。

寒冷な気候を眠って過ごしている間、彼らはこの脂肪によって生きる。この眠りの間、彼らはほとんど動いたり呼吸したりしないので、そんなに多くの食物を消費することはない。

動物が寒冷な時期を眠って過ごす時、その動物は冬眠していると我々は言う。カミツキガメ、カエル、ヘビは冬眠する動物の仲間である。

E1TS/E1T  
高1難関大英語S  
高1難関大英語



会員番号	
------	--

氏名	
----	--